



## 第10回 那加三市民ふれあいフェスティバル(10/11日)

**午前 校区の市民運動会** お天気に恵まれ、会場はあふれる程の人、人、人…  
那加三支部は賞品係を担当しました。

**午後 ふれあいフェスティバル** チャリティーバザー 校区の皆さんからバザー用品をご寄付いた  
だき、バザーには大勢の皆さんに来ていただきました。  
沢山のお買い上げありがとうございました。



チャリティーバザー売上金 170,970円	
50,000円…那加三支部 災害救援資金積立	
20,000円…那加三支部 地域福祉事業に活用	
20,000円…青少年育成市民会議 (青少年健全育成に活用)	
20,000円…那加中学校事業活動へ寄付	
20,000円…那加第三小学校事業活動へ寄付	
38,652円…自治会連合会	
2,318円…消耗品	



## 80才以上の高齢者世帯の方を囲む食事会(10/25日) 65才以上のひとり暮らしの方

年に一度、校区の皆さんが一堂に集まつてのお食事会、大勢の皆さんのが参加により賑やかに開催されました。自治会長にも、ご自分の町内の皆さんのが入っていただき、よりお話しも弾んだことだと思います。

はじめに福祉のスターの表彰式が行われ、受賞された皆さんに上屋支部長より賞状と賞品が渡され、会場からは大きな拍手で祝福。中学生の皆さんと一緒ににお食事を楽しみました。



<b>出席者 200名</b>
招待者 ..... 131名
余興ボランティアさん・招待者 ..... 15名
近隣ケアG・支部社協役員 ..... 54名

ブルーベレーズ美しいハーモニー 早朝より、会場作り、食事の準備、接待等近隣ケア代表、民生児童委員、支部社協の皆様、本当にお疲れ様でした。

## 地域コミュニティ会議(11/20金)PM7:00~

今年度から支部社協の主催事業となり、校区の各種団体の皆さんが集まって研修しました。

- ①精神障害者と地域のかかわり方(地域での受入について)  
地域活動支援センター「クラブハウスゆうせん」の波多野さん、メンバーの前田さんからスライドを見ながら講義を聞きました。
- ②独居老人と地域のかかわり方(一般的な困難事例から)  
地域での課題の共有を深める。 市・社協 田中主任



## 歳末たすけあい懇談会(12/6日)

歳末たすけあい特別事業の一環として行われる懇談会、今年は二部会で開催。

- ①はじめに清水課長補佐から「高齢福祉の手引」・「介護保険」等資料に基づき、福祉サービスを利用するための講義を聞く。
  - ②社協 田中総務課主任、包括支援センター小林看護士さんから
    - ・介護保険以外の支援が受けられるもの(生活福祉資金貸付とか日常生活自立支援など)
    - ・ボランティアでのネットワークの必要性(話し合う機会の拠点作り…ボランタリーハウスの設置など)
    - ・近隣ケアグループの存在の大切さ等を聞きました。
- ※困っていること、相談したい場合は、自治会長・民生委員等を通して社協へご相談下さい。

### 後半 分科会に別れて懇談会

助言者 (市社協総務課 奥村主任 田中主任)

- 超高齢化社会の中で、現体制でカバーできているか?  
100%とはいえないが、市の水準を底上げしようとも一度制度を見直して、他の市町村を見ながらアップをはかっている。
- 高齢者にとっては(昔の隣組の状況)集会場のようなところで集まつてお互いの安否の確認をする事が大切。
- シニアクラブにもっと積極的に参加して、もっと高齢者が集う場をもちたい。
- 親子関係がうまくいくといい家庭が多いように見られるが。家族の絆が一番大切。日常の生活の中で声を掛け合いながらのコミュニケーションで良い関係が出来る。これは隣近所・地域でも同じ事、まずは声掛けである。

### 70歳以上 夫婦のみの世帯

助言者 (市高齢福祉課 清水課長補佐 小林看護士)

- 大きな公園はあっても市民病院がない。近くに病院が欲しい。マイドクター制(即ち、かかりつけ医を決め、専門により総合病院へ紹介する…)
- マイドクターを決めておくといい→課長補佐パリアに改造したい。
- また、手すり等以前取りつけたものが老朽化し、追加は出来る?介護保険の限度分20万円迄利用できる。但し1回限り→包括支援センター福利用具のレンタルとか、個人的な諸々の相談は包括支援センターへどうぞ。
- 地域(町内)全員の見守り体制が必要また、それぞれ各個人の意識啓発が大切。
- もつともひとつふれ合い、声かけが必要。
- 緊急の場合の連絡法について。各家庭の冷蔵庫等に貼るカード「緊急連絡先カード」が市高齢福祉課に用意されている。

ひとり暮らしの方..... 11名
近隣ケアG..... 6名
自治会長・民生委員・支部役員..... 17名

- “見守り・助け合い・支え合い” 地域でふれあいを深め、共助で、安心して住めるまちづくりのためには、ボランタリーハウスの設置などが必要ではなうろうか。以上のようなことが話し合われました。